

新入生オリエンテーションを実施しました

4月9日（木）、生徒による新入生オリエンテーションを実施しました。

前半は、生徒会企画部による動画「附中生の1日」や「附中〇×クイズ」があり、緊張した様子の新入生にも笑顔があふれていました。後半は、生徒会長 浜田栞名さんの歓迎の挨拶に続き、生徒会スローガン「響(ひびき) ～『こえ』を大切にする附中～」の説明がありました。さらに、各実行部委員長から実行部活動について、附中祭「春」の各リーダーから係活動について紹介がありました。新入生からは、1組の西嶋伸晃さんが代表としてお礼のこたばを述べました。終始和やかな雰囲気にも包まれたあたたかい時間となりました。

さっそく、附属中を牽引するリーダーの「こえ」が新入生の心に響いたと思います。生徒会企画部、実行部委員長、及び附中祭「春」の各部リーダーの皆さん、事前の準備と運営、たいへんお疲れ様でした。

令和8年度 附中祭テーマ「^{きょうめい}共鳴」

新入生オリエンテーションにおいて、発表されました。

テーマ設定の理由

「共鳴」とは、一つの音や思いに対して、別の音や思いが応え、互いに響き合うことを意味します。

附中祭は、誰か一人がつくるものではありません。一人一人の行動や思いがきっかけとなり、それに周りが応えていくことで、はじめて形になっていきます。

誰かの一生懸命な姿に心を動かされ、「自分もやってみよう」と一歩踏み出す。仲間の考えに触れ、自分の見方が広がる。困難の中でも支え合いながら、よりよい形を模索していく。そうした関わりの中で、互いに影響し合い、自分自身も変化していく。

「共鳴」が生み出す価値は、結果としての成功だけにあるわけではありません。人と人とが深く関わる中で生まれる気づきや変化、そして、互いの「こえ」を受け止め合いながら創り上げていく過程にこそ真の価値があります。

一人の「こえ」が、誰かの「こえ」を呼び起こす。その重なりが大きな響きとなって、新たな動きや考えを生み出していく。そんな附中祭を共に創り上げていきましょう。



理科の実験道具である音叉を用いて、「共鳴」の意味を伝えるアイディアは、さすが生徒会企画部です！

個人情報の取扱いについて（大切な確認事項）

保護者の皆様には、生徒調査票や保健調査票等、個人情報に関わる書類の提出をお願いしております。本校では、次の方針に基づき、個人情報の取扱いについて徹底を図っております。

- (1) 収集した個人情報は、学校の業務以外の目的には使用しません。
- (2) 収集した個人情報は厳重に保管し、使用後は廃棄します。

提出していただく情報の管理には、十分に配慮してまいりますので、御理解の上、御協力をお願いいたします。また、この学校だより「附中 NOW」や本校ホームページ及び公式 SNS (YouTube、Instagram、Facebook) では、授業の様子、部活動の成績や各種コンテストの入賞等を紹介する際に、生徒の個人名や写真を掲載することがあります。このことに支障があられる方は、学級担任へお知らせください。